

民報あばしり

NO.1278
8月2日
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F 四三二一四四五七



「国会かけある記」

二〇二〇年七月二七日

石黒さんの功績

参議院議員 紙 智子



災害募金を訴える紙氏（左から2人目）

農産物検査センター初代所長を担われた石黒昌孝さんが亡くなられました。心から哀悼の意を表します。石黒さんは、横浜や東京の税関の分析官をされ、全国税関労働組合委員長もされてい

ました。退職後、分析センターの所長として、日本の農業、食の安全・安心を守る運動に身を投じ、自国民政府の輸入自由化路線のもと、大量の農畜産物の検疫体制の不十分さを指摘されました。

思い出すのが2001年12月に農産物の分析センターが、いち早く輸入冷凍野菜の検査を行い、中国からの冷凍ホウレンソウから日本基準値(0.001PPM)の9

倍もの農薬(クロルピリホス)の検出結果を公表したことです。それがきっかけで、厚生労働省が輸入冷凍野菜の検査を行わざるを得なくなりしました。他にも、ミニマムテクス米の事故米の不正流通問題、中国からの毒入り輸入餃子による中毒問題など、食の安全への信頼を損なう問題が繰り返される中、科学的な分析とデータが世論を動かしました。

最近では、輸入小麦を原料に使った学校給食のパンからグリホサート(残留農薬)が検出された問題は、私も分析センターのデータと協力を得て国会で質問し大きな反響がありました。学校給食に輸入小麦を使わせない運動、国内でグリホサートを使用しない動きが広がっています。石黒さんの功績は、これからも生き続けると確信します。

※ストップ！戦争法網走の会

8月行動予定のお知らせ

- 7日(火) 憲法リーフ地域配布
- 10日(月) から13日(木) 宣伝カー運行
- 22日(土) 定例宣伝

松浦奮戦モ



雨と風で倒れたビール麦(25日嘉多山)

7月に入って好天が続いて農作物も順調に生育していましたが、23・24日の雨と風によって収穫直前の麦類が倒れました。25日午前の街頭宣伝後、村椿議員と嘉多山、北浜などを訪問し被害状況を視察しました。

農家の方にお話を伺うと、この地域でも「ビール麦は、7月になって天気が良い日が続いたので、背丈が伸びすぎた。そこに雨と風によって倒れてしまった。天気が続けば乾燥して何とかかなりそう。あとは天気がいいだけ」と、言っていました。長年、自然を相手に農業をしてきただけに、少々のことではビクともしない農家のみなさんの力強さを感じて帰ってきました。

村中賑わう



近年、日本全国で想定外の雨が降る。網走も平成18年10月に雨(流域の平均雨量139ミリ)が降り、ホテルが水に浸かった。平常水位より2.5mも上昇しキャンプ場が水に沈んだ。しかし、市内の網走川がふれることはなかった。自然のダムともいえる広さ32平方キロの網走湖があるからだ。

しかし、熊本を襲った梅雨前線とまでいかなかった。雨が3日間続いたらどうなるだろう。5mを超えることなる。大曲、新町、緑町をはじめ市街地は水に浸かってしまうことになるのか。記録は無いが想定はできそう。

市は、新庁舎を現

庁舎より1mも低い場所を適地としている。水害について、どこまで検討しているのか。

爆弾低気圧の記録

年月	気圧 hp
2013. 1	936
2014.12	954
2017.10	942
2000. 3	951
2004.11	950
2006. 2	962
2012. 4	957
2018.12	965
2008. 3	955
2007. 1	952

流水

赤旗に読者からこんな投稿がありました。「GOTO前倒し またあべこべ政治か」▲今、

国民の一番の関心事はコロナだと思えます。「早くPCR検査を受けられるようにして欲しい、そうしたら少しは安心できるのに」この民意に政府は答えるべきです。▲東京のど真ん中に横田基地があります。その周辺の自治体のひとつ福生市市議会が「これ以上の基地強化はしない」事を求める決議が全会一致で採択されました。度重なる落下事故が相次ぎ、「市民の不安が払しょくできない」この民意に沿うべきです。▲誰も必要としない「布マスク」をまた8000万枚配布する、その金額247億円。なぜこの時期に、なぜ民意に耳を貸さないのか。▼沖縄辺野古沖への基地建設・毎年100億円の赤字の出る北海道新幹線、その延線のための残土処理の強行・国公立病院の統廃合計画・環境破壊の明白なりニア中央新幹線の強行・消費税の10パーセント増税など、どれも民意に反しています。決めた事でも「民意はどこにあるのか」と、耳を傾けることは政治を担う者の最低限の資質ではないでしょうか。 菊地